

エアコン設置で市立幼稚園、小学校、中学校の熱中症対策を実施

前之園 孝光 議員



問1 「幼稚園、小学校、中学校のエアコン設置事業」の推進を、私は平成28年第1回と第4回の定例議会の一般質問で提案してまいりました。また、私も市議会公明党は昨年8月、市長に「平成30年度の予算編成に関する要望書」の中でも要望してまいりました。平成30年度から各学校の空調設備に計画的に取り組み予定になり、大変喜ばしいこととございます。

今年度は市立幼稚園4園の全てに空調機器を設置するとともに、大綱小学校及び瑞穂小学校、増穂小学校、白里小学校の4校の実設計に着手する予定になり、これもまた大いに期待しておりますが、市立幼稚園4園の全ての空調機器の設備はいつまでに完成するの伺います。

答 本年7月5日までの設置完了に向けて作業を進めているところで、今後は、本年度の幼稚園に続き、平成31年度に大綱小学校、瑞穂小学校、増穂小学校、白里小学校の4校、平成32年度に大綱東小学校、増穂北小学校、季美の森小学校の3校、平成33年度に大綱中学校、増穂中学校、白里中学校の3校で設置工事を実施する予定です。

問2 「みどりが丘市有地の有効活用について」、私は平成25年9月議会からこれまで数回、質問、提案してきました。このような観点から大いに期待しているわけですが、現在までの進捗状況について、質問をいたします。

答 本事業につきましては、市有地約4万6,000㎡のうち、大綱小学校に隣接する敷地面積9,800㎡を対象として、(仮称)子育て交流センター及び交流広場を整備するものです。

学童保育や放課後子ども教室、地域子育て支援センター、児童館などの機能を持つ(仮称)子育て交流センターが1,200㎡程度、子ども

たちや子育て家族などが利用できる交流広場が2,100㎡程度、駐車場・駐輪場などの外構部分が6,500㎡程度を想定してまいります。事業費については、4億7,617万2,000円を上限として公募を行うこととしてまいります。

今後のスケジュールといたしましては、7月18日に民間事業者からの提案募集を締め切り、7月30日に優先交渉権者となる民間事業者を決定し、9月第3回定例議会の議決を得て、10月上旬に事業着手、平成31年12月末の竣工予定、32年4月オープンをめざしてまいります。

問3 健康ポイント手帳については、平成25年6月議会、平成26年11月定例議会の一般質問で、私から「健康立市宣言」についてと商品券などを贈呈する「健康ポイント事業」について提案をいたしました。

健康づくりへの取り組みに得点を与える健康ポイント事業は楽しみながら病気やけがの予防にもつながる試みとして、今注目を集めております。健康ポイント事業は、健康づくりの努力に応じて与えられるポイントで、たまったポイントは金券や商品などと交換ができます。注目される理由は、超高齢社会を迎え、生活習慣病の予防や健康状態の改善につながる重要性が増しているからでございます。昨年の実績等について質問いたします。

答 昨年度の実績につきましては、延べ525人の方に参加をいただいたところです。

市民の健康増進のために、「健康ポイント手帳」のさらなる周知、推進を要望いたします。

公衆無線LAN「WiFi」について・今後懸念される災害について

秋葉 好美 議員



問 公衆無線LAN「WiFi」の設置について伺います。近年、訪日外国人数は急激に増加し、2016年2482万3000人と過去最高を更新している。2020年東京オリパラに向けて、さらなる増加が予想される。この「WiFi」の整備促進は観光情報の発信、地域の活性化、災害時の通信手段の確保に向け、新たな社会基盤として重要な役割を有している。そこで、本市の公衆無線LAN「WiFi」の設置状況の取り組みについて伺います。

答 これまで市が設置したものはありません。

問 総務省は公衆無線LAN環境整備事業として、地方公共団体に対して整備費用の一部を助成しています。お隣の東金市も、この助成制度を活用して、市内25カ所で運用を開始しています。ぜひ先進事例を参考に検討して頂くことを要望致します。

問 本市の公共施設や観光への導入については、人の集まる場所、公共施設なら、庁舎、中央公民館、保健文化センター等、観光施設では、小中池公園、中央海岸等、私も5カ所見に行つてまいりました。大多喜町では、町全体の「WiFi」の整備を検討していたそうです。しかし補助金だけでは町全体に回線を引くことが難しくなり、そこで「WiFi」の自動販売機への設置を知つたそうです。メリットとして無料「WiFi」の提供をできるだけでなく、自販機も設置することで観光客へのサービスに向け、無料「WiFi」の使用スポットや利便性向上につながるのと伺います。そこで「WiFi」の導入について伺います。

問 「Free WiFi」搭載型自動販売機はスマホやタブレット端末を無料でインターネットに接続できます。携帯料金の大部分を占めるパケット代を抑えられます。本市の負担無しで設置できるメリットもあり、地域活性化やまちおこしに設置を考へてはどうか、また既存の自販機に「WiFi」機器の設置は可能なのか伺います。

答 「WiFi」機器の搭載型自動販売機については、市が一般的な「WiFi」機器を設置した場合の費用と比較するとコスト軽減が期待できると認識しています。又既存の自販機には設置可能であると伺っています。しかし、全ての飲料メーカーが「WiFi」搭載型自販機を取り扱っているわけではありません。今後、関係課と協議し検討していきます。

問 「Free WiFi」搭載型自販機、ぜひ設置に向けて前向きに検討して頂きますよう要望致します。

問 次に、防災・減災対策について伺います。

東日本大震災から7年目になります。今後、南海トラフ大地震、首都直下地震、房総半島東方沖地震など懸念されています。そこで大切なことは、市民の皆様の防災意識ではないかと思ひます。そこで市民の皆様にとどのような啓発をされているのか伺います。

答 市の防災情報や防災訓練の実施参加を通して向上に努めています。

問 今年度の防災訓練の予定と内容について伺います。

答 7月には、土砂災害訓練を餅木金谷郷地区、9月には、総合防災訓練を瑞穂小学校を会場に、また11月には津波避難訓練を白里地域で予定しています。

生活道路の補修、改良こそ優先すべきではないのか?

黒須 俊隆 議員



問 圏央道スマートインターチェンジ関連事業は、総額43億円にも膨らんだ大変大きな事業となりました。これは5万人市民を一人あたりで割ると、8万6千円になります。4人家族だと35万円近くにもなる計算です。今後の人口減少や高齢化に伴う社会の変化や車の需要自体が既に減少している中で、4人家族で35万円も払って、本当にこれだけ多くの税金の投入に見合う経済効果などの費用対効果が果たしてあるのか。これだけの税金を投入して土木建設業者だけがもうかつたのでは、税金の無駄遣いのそしりは免れません。

問 市道の補修調査及び補修路線の選定方、進捗状況等は?

答 市道の状況を把握するため、平成26年度に1級市道、2級市道及び一部の市道につきまして、舗装のひび割れ、わだち掘れ、平坦性の現状を確認するため、路面性調査を実施しました。その結果、1級市道4路線、2級市道10路線、その他市道5路線、延長にいたしまして約3・2キロメートルの区間が早期に修繕が必要な路線となりました。そのため、平成27年度から平成29年度に1級市道1路線、2級市道3路線、その他市道1路線、修繕延長にいたしまして約1・7キロメートル、修繕率にして約52パーセントの舗装引き継ぎ、舗装の状況を観察し、舗装の破損が多い路線や交通量の多い路線から、修繕箇所の抽出を行い、適切な市道管理に努めてまいりたいと考えております。

問 早期に補修しないといけない道路のうち約半分くらいが未完了でまだ残っているということですが、道路が壊れていると交通事故にも結びつきかねないわけで、一刻も早く補修改善していただきたい。

問 市道の総延長が600キロを超えている中で、次の調査でも、また別の路線に早期補修が必要になってくるだろうと当然考えられます。

答 きちんと生活道路の安全のために、補修費の予算を確保した上で、速やかに道路の補修を進めていただきたいと思います。

問 市道の日常の保守、点検、整備、補修の考え方は?

答 市道の日常の保守点検に関しま

問 市道の日常の保守、点検、整備、補修の考え方は?

答 市道の日常の保守点検に関しま

問 市道の日常の保守、点検、整備、補修の考え方は?

答 市道の日常の保守点検に関しま